

2014年3月期 通期 決算説明会

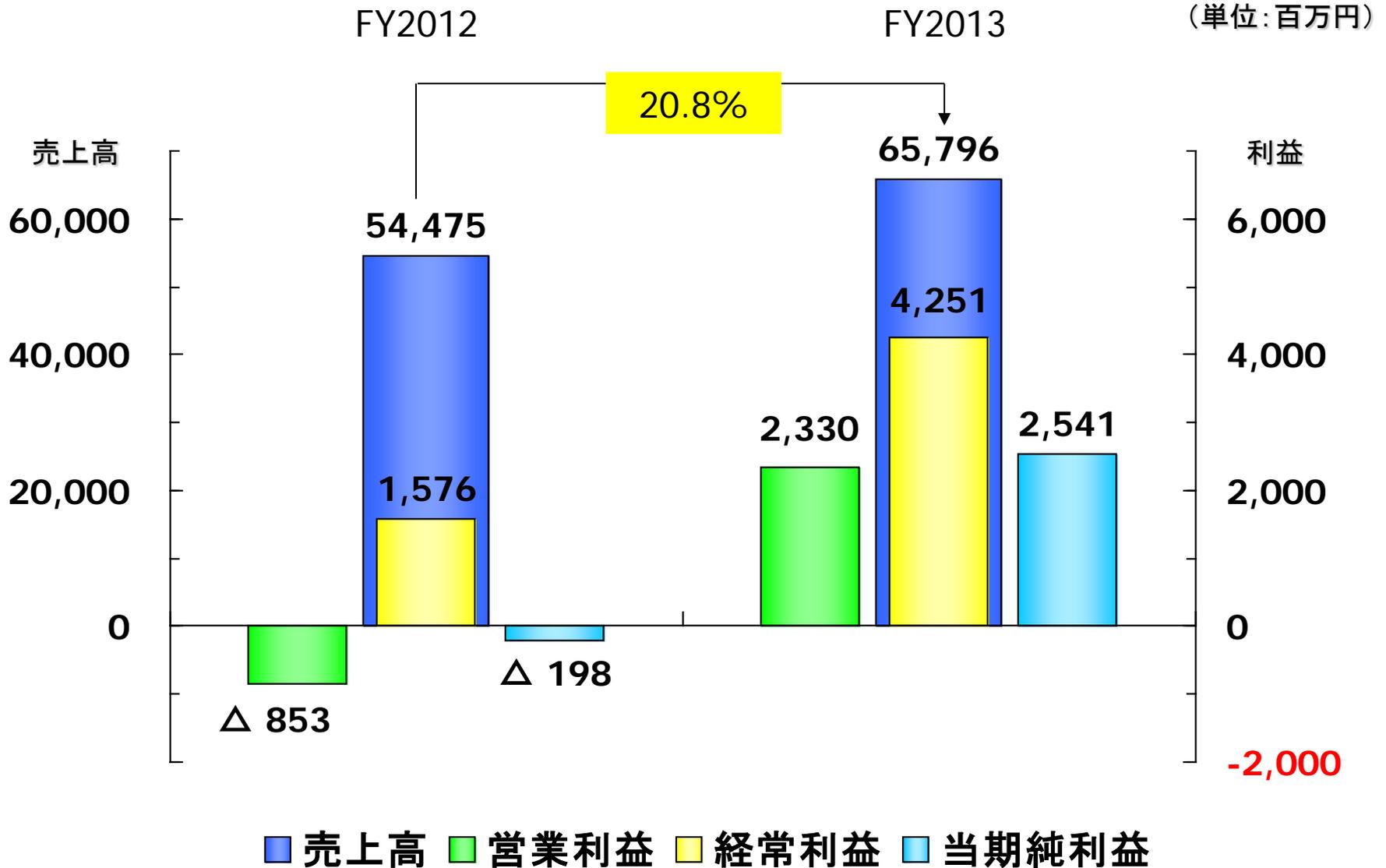
SMK株式会社
2014年4月30日

FY2013 3月期決算の概要

常務執行役員

大垣 幸平

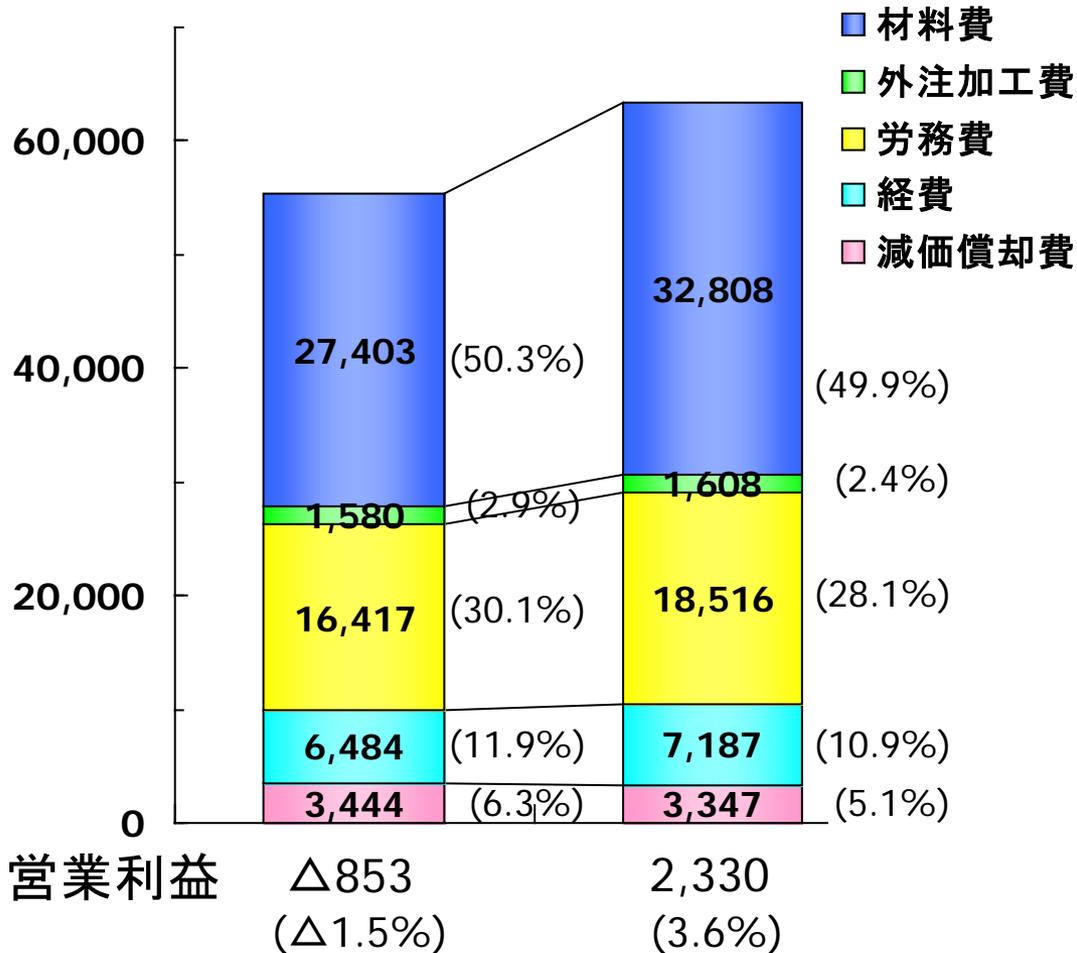
<連結>通期業績



<連結>営業費用

(単位:百万円)

FY2012	FY2013	():売上比
55,328	63,466	
(101.5%)	(96.4%)	



- (材料費+外注加工費)0.9%改善
53.2%→52.3% △488百万円

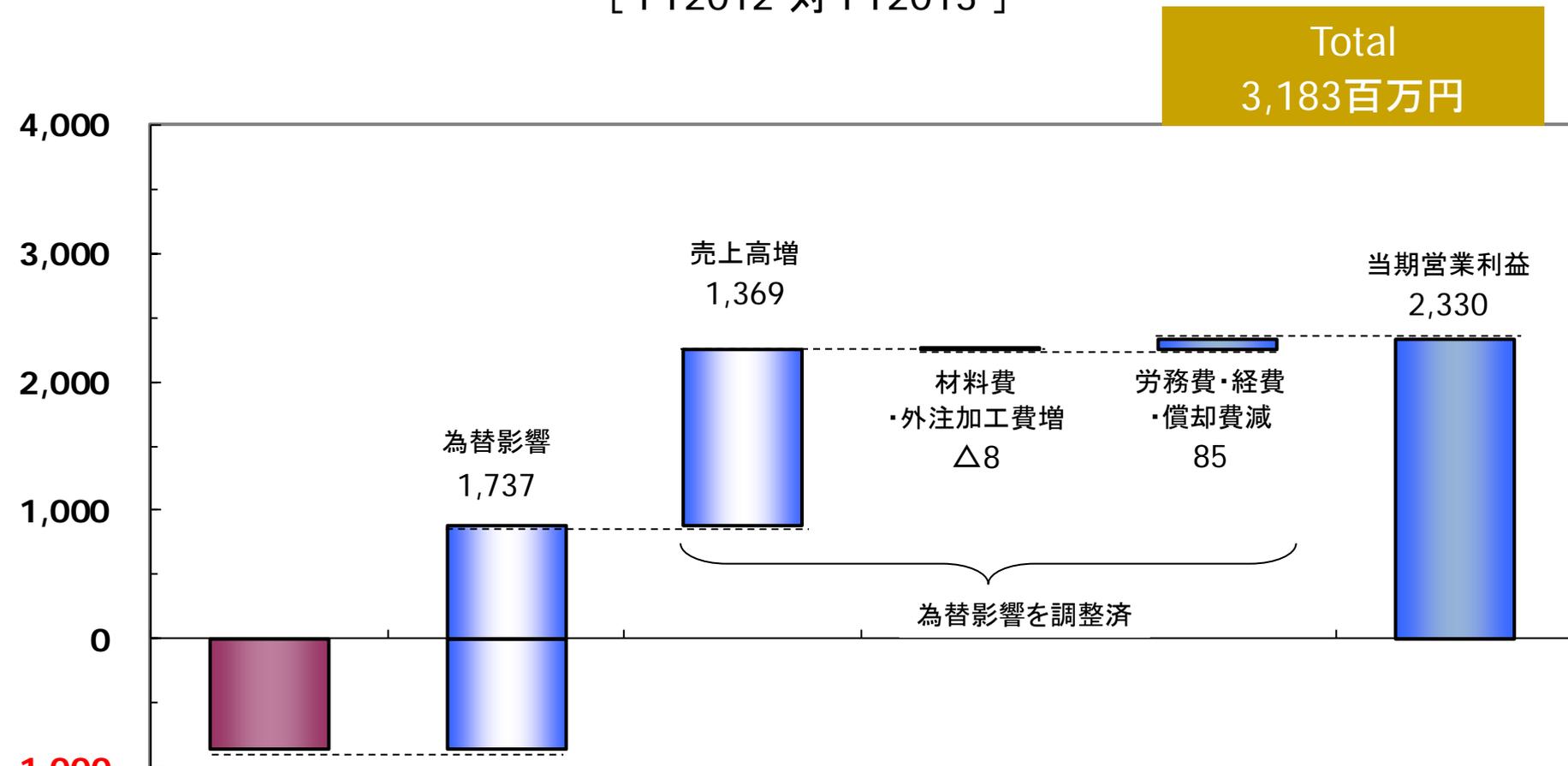
- (労務費+経費) 3.0%改善
42.0%→39.0%

増産に伴う費用増加等により、
金額では +2,802百万円

<連結> 営業費用分析

連結営業利益増減要因分析
[FY2012 対 FY2013]

(単位:百万円)



期中平均レート: FY2012 ¥82.83/\$ → FY2013 ¥100.12/\$

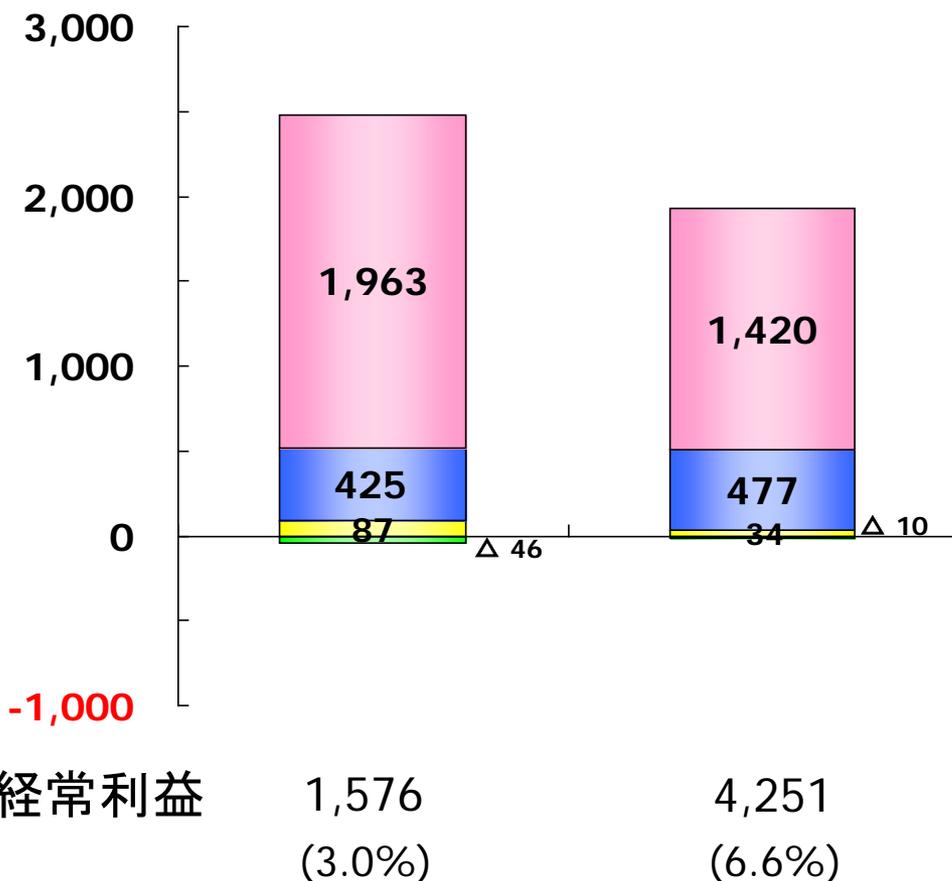
<連結>営業外損益

(単位:百万円)

FY2012
2,429
(4.5%)

FY2013
1,921
(3.0%)

():売上比



- 為替差損益
- 不動産収支
- 金融収支
- その他

【為替差益 543百万円減少】

1. FY2012

2012/3 ¥ 82.19/\$

2013/3 ¥ 94.05/\$ 11.86の円安

2. FY2013

2013/3 ¥ 94.05/\$

2014/3 ¥ 102.92/\$ 8.87の円安

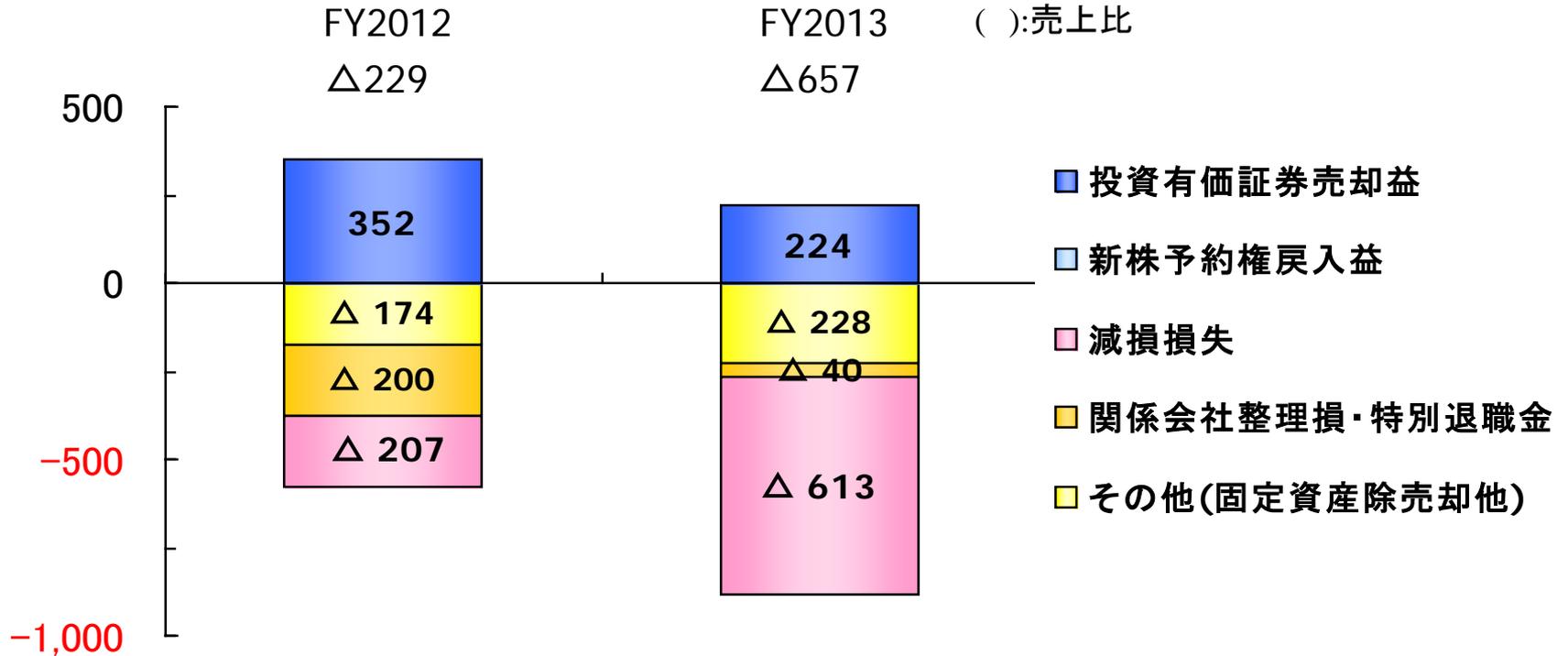
経常利益

1,576
(3.0%)

4,251
(6.6%)

<連結>特別損益

(単位:百万円)



税引前利益	1,347	3,594
税金等(含税効果処理)	△1,545	△1,053
当期純利益	△198 (△0.4%)	2,541 (3.9%)

<連結>セグメント情報

8/24

FY2013

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	27,416	22,438	15,808	65,662	134	65,796
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益)	1,403	△963	1,866	2,306	24	2,330

FY2012

	報告セグメント				その他(注)	合計
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	25,498	18,803	9,923	54,224	251	54,475
セグメント利益 又は損失(△) (営業損失)	521	△1,430	12	△897	44	△853

(注) その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業及びファクタリング事業

2014年3月期通期 決算説明会 2014年4月30日



＜連結＞財政状態

9/24

(単位:百万円)

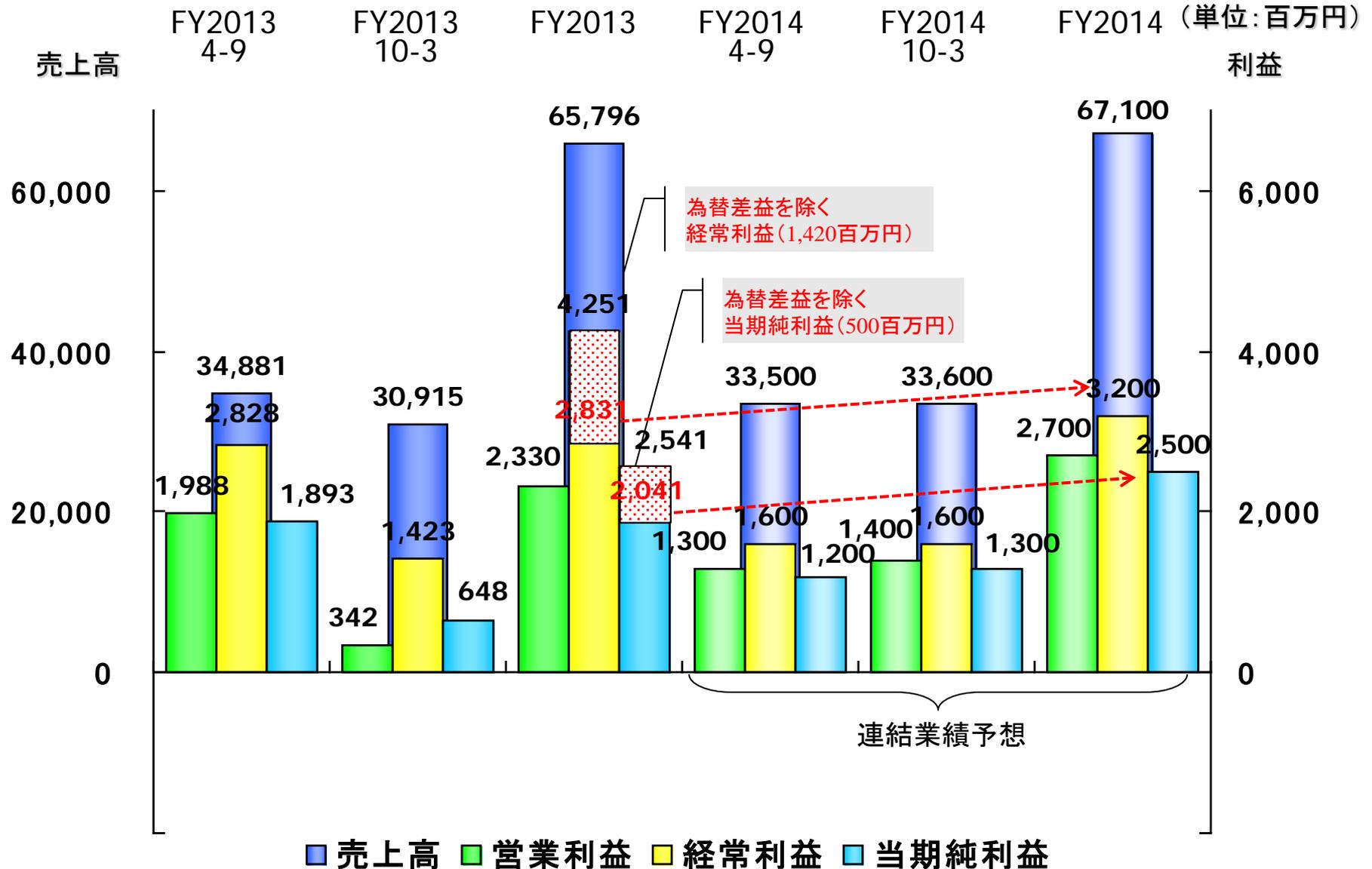
	2013/3 (A)	2014/3 (B)	増減 (B-A)
資産	52,498	56,235	3,737
現預金	8,713	11,227	2,514
受取手形及び売掛金	14,551	14,681	130
棚卸資産	5,466	5,904	438
固定資産	19,864	21,010	1,146
負債	24,293	24,759	466
買掛金及び未払金	9,851	9,660	△191
有利子負債	11,488	10,566	△922
純資産	28,204	31,476	3,272
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	53.6%	55.9%	2.3%

＜連結＞キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	FY2012	FY2013
営業キャッシュフロー	5,310	7,645
運転資金	△99	△731
税引前利益	1,347	3,594
減価償却費	3,438	3,377
その他	624	1,405
投資キャッシュフロー	△3,402	△3,420
フリーキャッシュフロー	1,908	4,225
財務キャッシュフロー	△1,360	△1,521
有利子負債の増減額	△788	△1,010
自己株式の増減額	△142	198
配当金の支払金額	△430	△709
現金等期首残高	8,389	8,630
現金等期末残高	8,630	11,134

<連結>業績推移(半期) 対予想比



年間配当金

	第2四半期末	期 末	年 間
FY2014(予想)	—	—	10円00銭
FY2013	5円00銭	5円00銭	10円00銭

FY2013通期実績とFY2014見通し

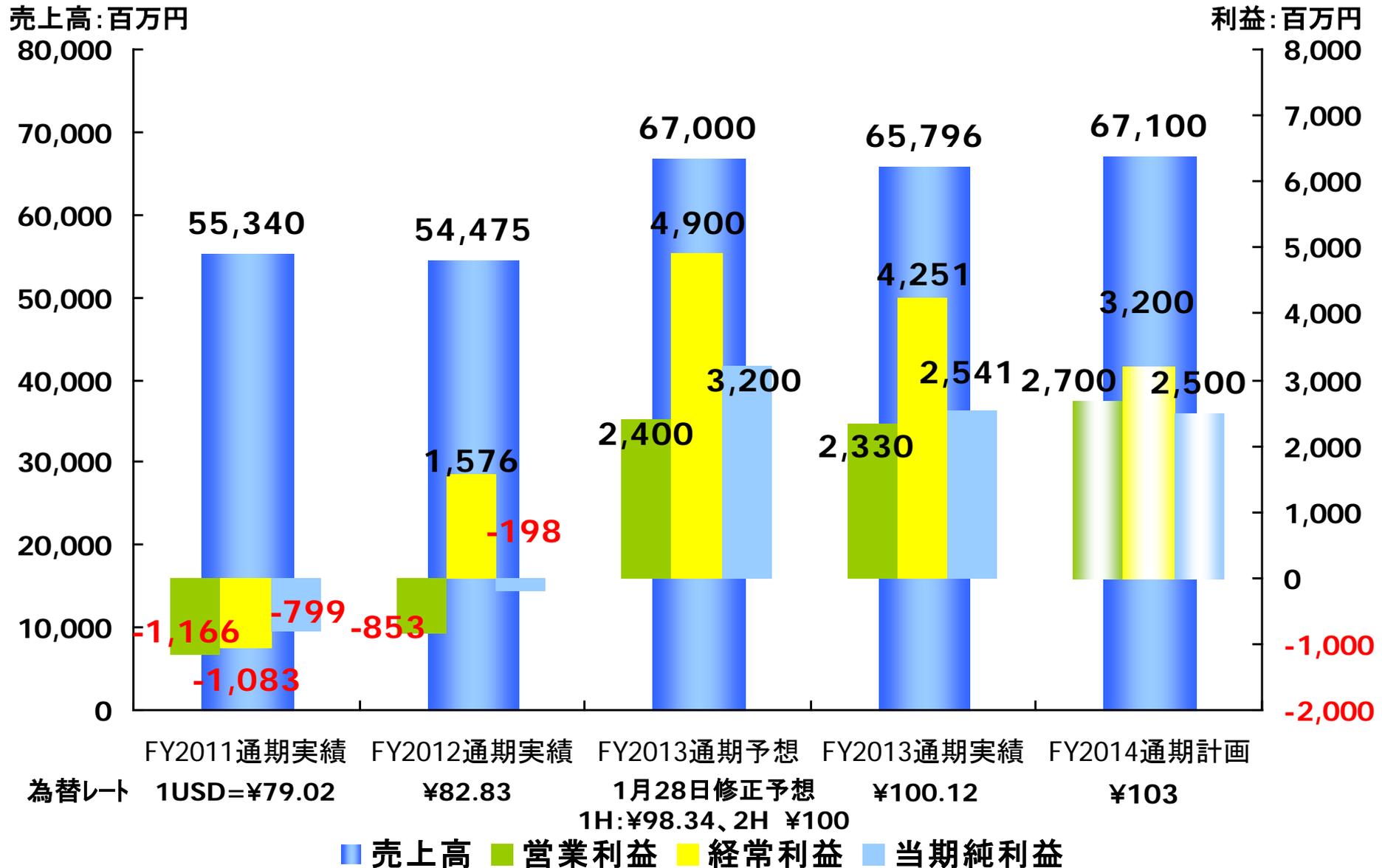
代表取締役社長 池田 靖光

SMK役員人事 2014年6月24日付

14/24

氏名	現職	新職
☆代表取締役の異動		
中村 哲也	代表取締役会長	特別顧問
櫻井 慶雄	取締役副社長	代表取締役副社長
☆新任取締役候補		
若林 幹雄	常務執行役員 営業本部長	取締役常務執行役員 営業本部長
☆新任執行役員		
後藤 光彦	信頼性センター所長、環境室室長、 技術管理部部長	執行役員 信頼性センター(所長)、環境室(室長)、 技術管理部(部長)
原 哲雄	カーエレクトロニクス市場部 General Manager マーケティング部部長	執行役員 カーエレクトロニクス市場部 (General Manager) マーケティング部(部長)

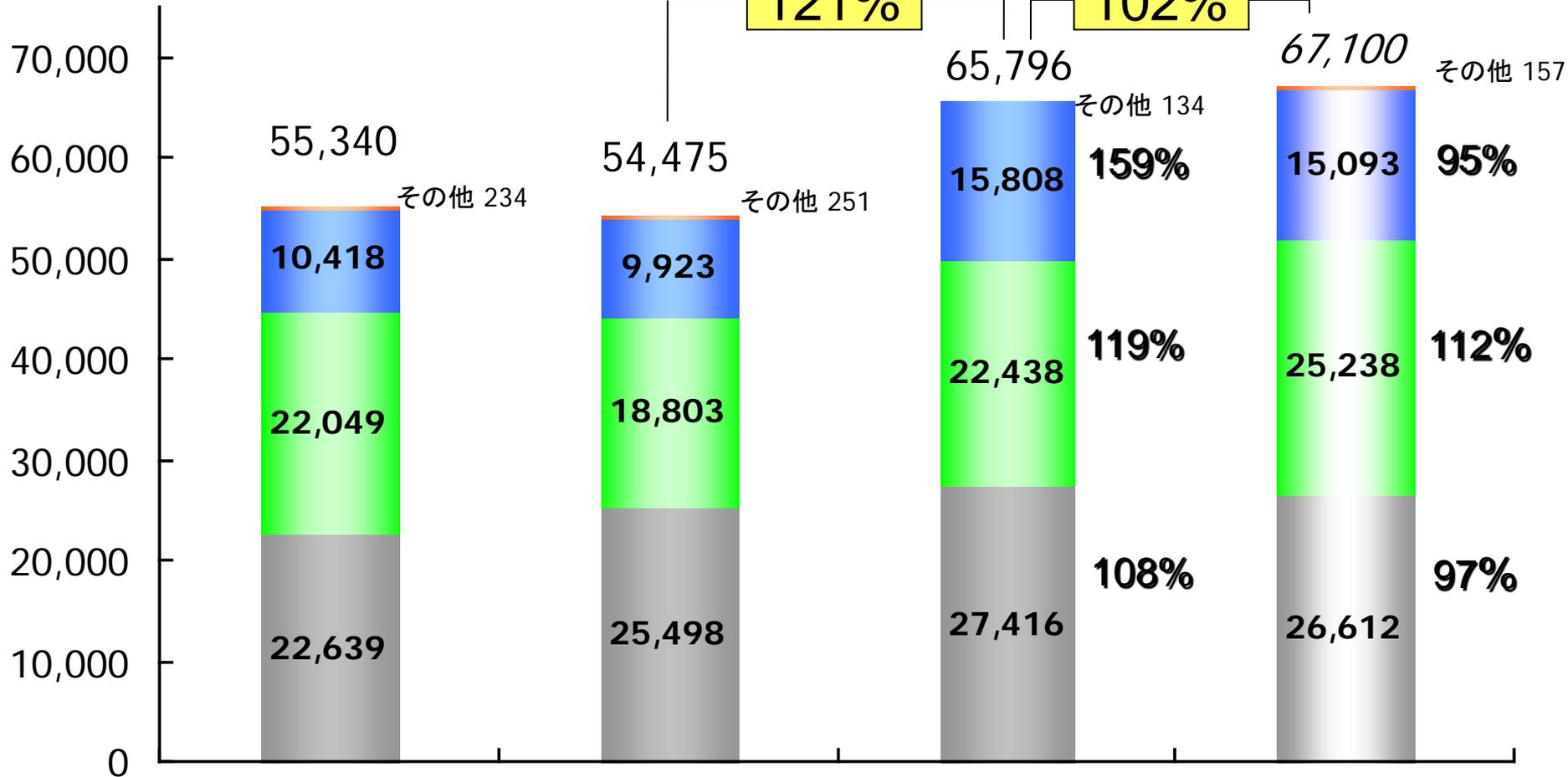
通期 売上高&利益推移(FY2011~FY2014)



事業部別 通期売上高 (FY2011~FY2014)

%:対前期比伸長率

売上高
単位:百万円



FY2011通期実績

FY2012通期実績

FY2013通期実績

FY2014通期計画

為替レート

1USD=¥79.02

¥82.83

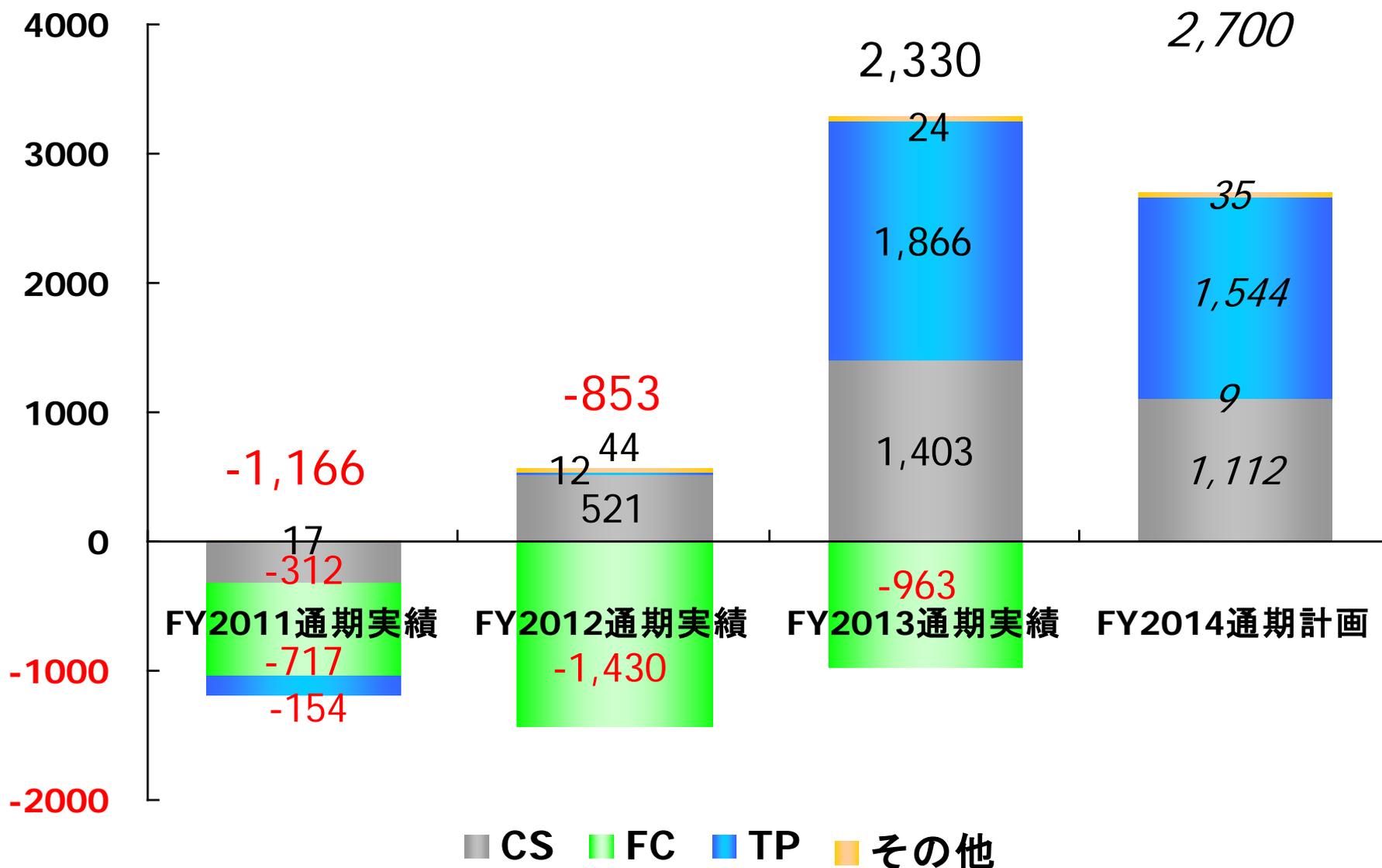
¥100.12

¥103

■ CS ■ FC ■ TP ■ その他

事業部別 通期営業利益(FY2011~FY2014)

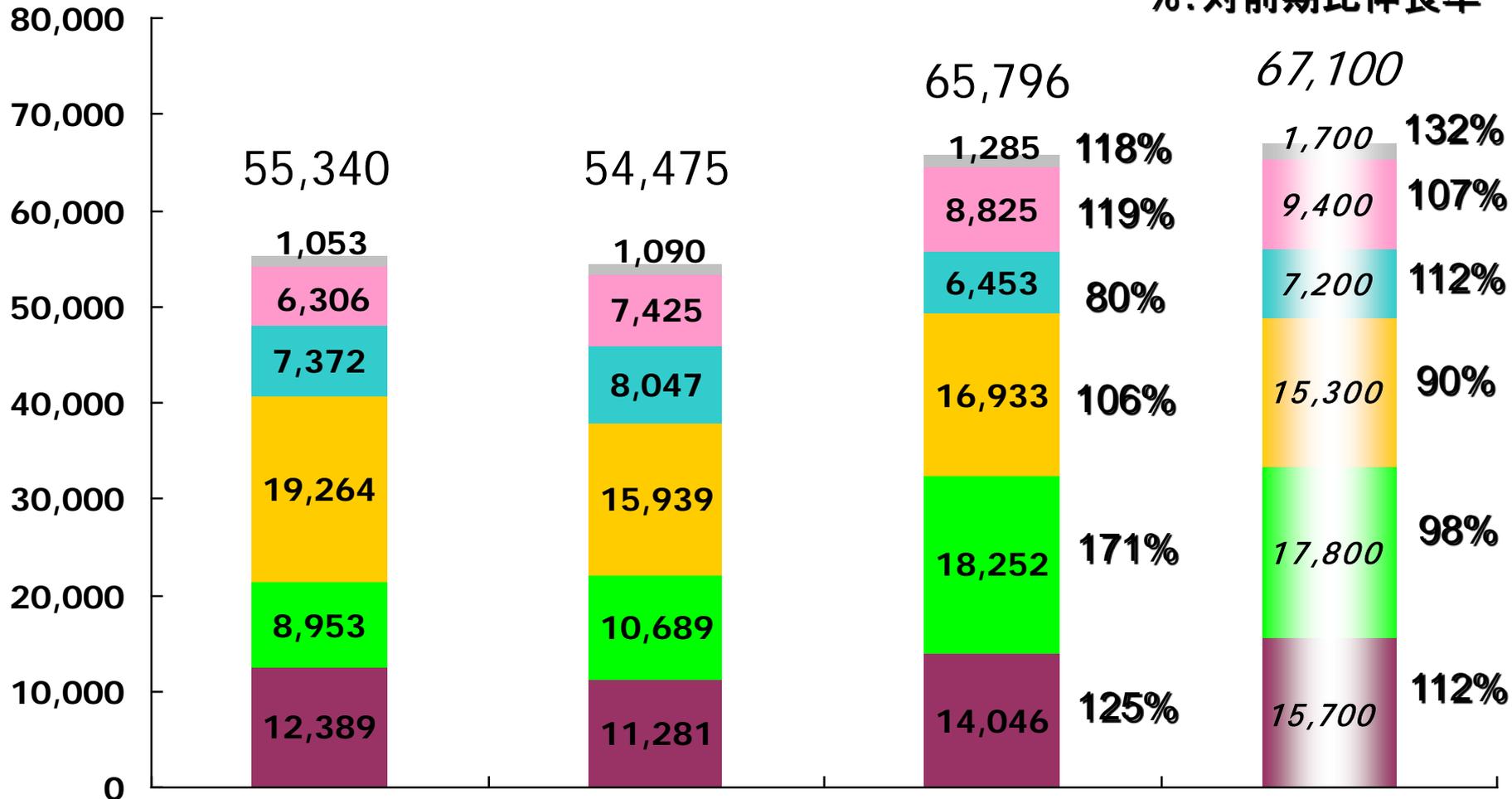
営業利益 単位:百万円



市場別 通期売上高(FY2011 ~ FY2014)

売上高 単位:百万円

％:対前期比伸長率



- 映像・音響部品
- 電装部品
- 通信部品
- 情報事務機部品
- 電子玩具・家電部品
- その他部品

ポジティブ面

✓ 世界経済回復基調

✓ エレクトロニクス産業の拡大

✓ 新規市場・新興国市場のポテンシャル拡大



ネガティブ面

✓ 新興国経済の減速懸念

✓ 中国・ASEANの労務費上昇

✓ セットのコモディティ化進展

✓ 各国で顕在化する地政学的リスク



1. 既存市場の深耕と新規成長市場への新耕
2. 新規事業への取り組み強化
3. トランスナショナルグループ経営の進化
(生産体制、開発体制、販売体制)
4. CSR・リスクマネジメント経営強化

現在  これから

デジタル化

ネットワーク化、スマート化

既存主要市場

カーエレクトロニクス



スマートフォン/タブレット端末



セットトップボックス(IPTV, CATV, Satellite)

新規市場

環境／エネルギー



ヘルスケア

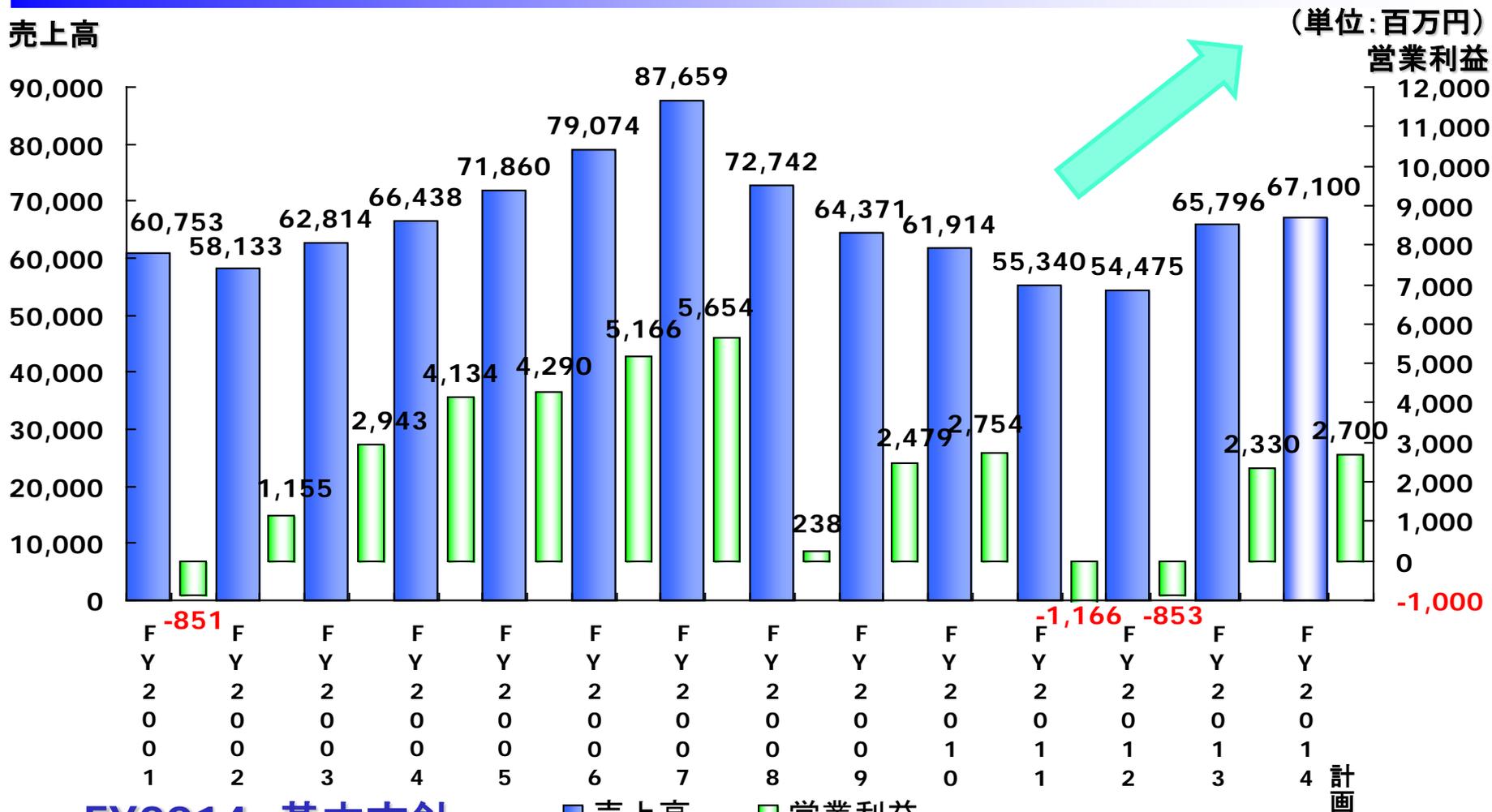
ウェアラブル端末



2014年4月9日～4月11日 東京ビッグサイト



期別 売上高／営業利益推移 (FY2001～FY2014)



～FY2014 基本方針～

**新成長戦略の実践と
変化に対応できる企業体質の確立**

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。